

# (公社) 大分県建築士会 日田支部会報

発行：公益社団法人 大分県建築士会 日田支部  
企画編集：広報部  
文責：広報部長 秋 和夫

第18号 (令和2年1月25日発行)

## 活動報告

### 第6回おおいた建築セミナー in 日田の報告 実行委員長 櫻木弘三郎



「淡窓さんとゆらめく千年のあかり」をテーマに今回で6回目となるおおいた建築セミナーを日田の地で開催させていただきました。

廣瀬資料館館長中島龍磨氏による講演の後、天領まつり・千年あかりで賑わう、伝統建造物群保存地区豆田のまち歩きをお楽しみいただきました。例年とは違って「建築」に関する講演や分科会を行いませんでしたので、参加された皆さまには戸惑いがあったのではないかと思います。まちの成り立ちであったり、ここに暮らす人びとの人生観であったり、古くから伝わり今なお息づく「天領日田」そのものを皆さまに感じ取っていただけたとしたら嬉しく思います。各支部の皆さまご参加、そしてご協力ありがとうございました。

8月から11月まで計4回の実行委員会を開催して当日を迎えました。各部会は更に回を重ねて行われていたかと思えます。「おじさん、お兄さん、お姉さん、新人さんも」そんな感じで文字どおり日田支部総出となって建築セミナーの開催、大会の成功に向けて準備を進めて参りました。日田支部では部会ごとに担当の活動を行っているものの、全員がひとつのことを行うという機会はなかなかありません。なので、大会を主管するのは支部にとって大変なことですが、時にはこういう機会も良いものだと感じました。

交流会の席では皆さまより「お疲れさまでした」と労いの言葉をいただきましたが、本当に大変だったのは、支部長、



副支部長、そしてなにより各部門を指揮していただいた部会長であったと思います。部会長は部員に役割を与えて上手く巻き込んでくれました。また、それに応じた部員もそれぞれ自身に任された役割以上のことを全うしてくれて、実行委員長としては何の心配もなく、参加いただいた皆さまをお迎えすることができました。唯一冷や冷やしたのは、わたしが担当していた大会冊子の出来上がり前日だったということと、西国筋郡代こと実行委員長あいさつが思いっきり滑ったときの白けた雰囲気ですかね。確かに「この勇ましいポスター」は言い過ぎたと反省しています……そんな、ちょっと抜けたところのあるわたしを実行委員長として最後まで盛り立てていただいた日田支部会員の皆さんへ感謝します。

櫻木に任せとったらヤバイと心配したのかどうか。そろそろ開催の準備を進めないと思っ腰を上げ始めた頃「建築セミナーのこと相談に乗ります。なんでも聞いてください」と宇佐支部光井青年部長と中津支部松山青年部長からお声かけいただきました。その言葉に甘えっぱなしでいつも頼りにしていました。開会前も緊張するわたしに冗談めかし話しかけてくれて、お二人の気遣い本当に嬉しかったです。また、梅木さんをはじめに玖珠支部からも応援いただきました。どの支部も会員が減少傾向にありますし、単独支部での開催は今後難しくなるのかなと思います。今回このようにして支部の垣根を越えて協力いただけたことを嬉しく思います。

結びに、ただただ感謝の言葉しかありません。次にこの建築セミナーを日田支部が主管するのは10年先くらいでしょうか。その頃はわたしも立派なおじさん。その時は若い世代の頑張りを応援しよう。時にはちょっと気難しいことを言いながら、でも、めちゃお手伝いをする。そんなカッコいいおじさんでありたいと思います……と、そうなる前に次回開催の第7回おおいた建築セミナー in 別府ですね。とても楽しみです。まずは別府支部の皆さまの頑張りを応援します。そして、別府といえば温泉ですよね。混浴露天風呂青年女性委員長会議なんていかがでしょう。じんわり期待しています。また滑っていますね。それが櫻木だと思ってご容赦くださいませ。それでは皆さま、次回は別府の地でお会いできるのを楽しみにしています。

## 青年部副部長 佐藤 幸司



令和元年11月9日「第6回おおいた建築セミナー」が天領日田の地で開催されました。開会に先立ち大分県建築士会井上正文会長より、日田出身の広瀬知事と井上県議の祖先とのつながりなど貴重なあいさつをいただきました。

次に大会会長を務めた日田支部長の野村晋二より、大分県内より多数の建築士の皆様が参加していただいたことへの感謝を述べ、佐賀県をはじめ各地で災害が多発した年でもあり、このような中、建築士がどのように関わっていくかが重要であり、今回の基調講演は日田市の先哲であります「廣瀬淡窓・久兵衛」を演題とさせていただきます。私は、是非今後の仕事等に何かヒントになればと開会の挨拶をしました。来賓として日田市副市長より平成24年・29年の災害についてのお礼とこれからの建築士に対し期待する旨の挨拶をいただき開会しました。

### 《基調講演》

『(第1部) 淡窓の「心」や「教え」を今のくらしに生かす、(第2部) 久兵衛、ロマンを使命に変えて突き進む』と題して、2部構成で淡窓と同様教師である廣瀬資料館館長の中島龍磨氏を招いてご講演いただきました。まず、講演が始まる前に館長を廣瀬淡窓に見立て、参加していただいた建築士85名を門下生という設定で入学式の一場面から始まりました。

(第1部) においては、廣瀬淡窓の「休道の詩」を使いどのような園であったのかを面白おかしく演技を交え説明いただき、「三奪法」=平等、「月旦表」=実力主義、「いろは歌」=個性尊重、「治めて後学ぶ」=規律、を淡窓の脳を輪切りにした図で分かりやすくコミカルに教えていただきました。

(第2部) は廣瀬淡窓の実弟であり、病弱な淡窓に代わり16歳で廣瀬家の家督を継ぎ、現大分県知事の先祖でもある廣瀬久兵衛について、自分の夢であった日本中・世界中を駆け回る夢を抑え、幕府の御用達商人・掛屋商人として廣瀬家の繁栄と日田の地を西国一の経済・文化の中心とする使命を全うすべく突き進む姿を淡窓同様に久兵衛の脳も輪切りにした図で教えていただきました。

中島館長の熱い演技とコミカルな話し方で時間があっという間に過ぎ、中身の濃い講義で2時間という制限のある時間

の中で二人の英雄を語るには時間が少なすぎたようで、またいつの機会かこの続きを伺いたく惜しみながら終了しました。

日田市の先哲である二人の全く違った道ではありますが、それぞれが信念を持ち、使命を全うすべく突き進んだ歴史を学び、今後の人生や建築に対して、少し考えさせられるとともに心に響く講演でした。

## 青年部副部長 後藤 慎太郎



講演会及び千年あかりの竹灯籠の明かりがゆらめく豆田町散策後に交流会として開催された懇親会には75名の方が参加してくれました。

余興演奏に日田祇園囃子なでしこ会の演奏により情緒豊かで風情ある中で美味しい食事や会話を楽しまることができ、他の支部様たちに日田の伝統文化を少し感じて貰えました。

アトラクションは各支部対抗ペーパータワー♪各支部思い思いにA4の紙を折っては積み上げる様子に応援や茶々が入り、期待も入り大いに盛り上がりました。玖珠支部の奇跡の1m98cmは凄かったですね。

宿泊所では名物の夜なべ談義。盛り上がりましたね。特に深夜0時過ぎの残ったお酒等掛けてのジャンケン大会！余りにも盛り上がりはしゃいでしまったので管理人さんに注意されるしまつ(笑) その後のサイレントジャンケン大会(笑)とても楽しい時間そして会員皆様の交流を深める場になったと思います。





**第6回おおいた建築セミナーin日田 事業部活動の報告**  
**事業部長 吉田 正浩**

第6回おおいた建築セミナーin日田の開催おめでとうございます。11月9日は日田天領祭りの真っ最中でしたので、千年あかりの光にゆられ、天気も良く、華やかな会場周辺は沢山の人が賑わいました。野村支部長は天気の事を気にしていましたが、そんな心配は全く無用の立派な晴れ男でした。花月川添いには祭りスタッフやボランティアの高校生たちが沢山集まり、準備に汗を流していました。その熱気に負けないよう、建築セミナーの準備も着々と進んで行きました。建築セミナーの全体計画はもとより、関連する担当部との調整、事業部内の調整、依頼、振り分け等、沢山の協議が出来ました。皆さん仕事を抱えての活動でしたが、集中力と実行力、何よりも“やる気”が素晴らしいと感じました。

事業部の活動としましては、マリエール会場の全体運営が担当となっていましたので、受付係、接待掛、場内案内係、余興係、駐車場係の責任者と会員がしっかり活動出来たと思います。受付係はベテラン会員に託し、そこにひたの家部会と玖珠支部の協力を頂きました。名札の配布、パンフレットの準備は予定通り順調でした。接待係は日田支部相談役の藤原氏とひたの家部会にお願いし、場内案内係は細やかな時間割りを場内アナウンスで流す事に心掛け、駐車場係は当日の結婚式や祭りで駐車場の確保が難しい事を予想し、江藤工務店に事前に駐車場を借りて対応しました。

講演会は打合せが良く、中島館長の講演は時間が足りないくらい熱の入ったものとなりました。余興は事前に“日田祇園囃子なでしこ会”と打合せを行い、入り時間、駐車台数、控室、演奏会場の準備、演奏人数、演奏時間、交流会の流れ等スムーズな打合せが出来ました。ペーパータワーは競技のルール、順番、人数、時間、紙枚数、テーブル、計測方法、空調の風の影響等入念に打合せしました。酔った人の対応までは予定にありませんでしたが、計測に担当者がタテ使いとヨコ使いの計測表を準備していて、迅速な計測が出来ましたので、計測時に倒れたタワーも正確に実測する事が出来ました。競技の際、空調の風を考慮してスイッチは切りましたので、体調を悪くした人が出ないか心配しましたが、11日(月)現在で苦情は入っていないようです。

今回は別府開催で500名の参加予定ですから、温泉を楽しみにしたいと思います。とにかく大盛り上がりで交流会は終了しました。皆様お疲れ様でした。楽しい講演会と交流会をありがとうございました。 終わり。

・・・(夜なべ談義の事を書くのですか?)・・・汗汗汗・・・  
 m( )m

夜なべ談義では、大いに盛り上がり過ぎてしまい、羽田多目的交流館の周辺は、しんと静まり返った夜中の12時。

その事を忘れて大騒ぎ、管理人様に『静かにして下さい!』と注意される始末。付近住民の方々に大迷惑を掛けてしまいました。

翌朝、朝食を作りに来てくださった付近住民の奥様方のお顔を、まともに見られなかった事は言うまでもありません。『大変申し訳ありませんでした。』

(まとめ)  
 夜なべ談義の失態は別として、全体を通してスムーズな運営が出来たと思います。日田支部の皆様との距離も縮まり、支部の結束力に改めて感銘致しました。次回はぜひセミナーin日田の慰労会でお会いしましょう。

(事業部 吉田)

**第6回おおいた建築セミナーin日田の報告**  
**広報部長 秋 和夫**

11月9日の午後2時より、マリエールオークパイン日田に於いて、第6回おおいた建築セミナーin日田が85名の参加で開催されました。



(開会宣言をする井上会長)



(挨拶をする野村大会会長)

井上正文会長より開会の言葉を頂き、大会会長の野村晋二支部長が挨拶を行いました。日田大会のテーマは「淡窓さんと揺らめく千年のあかり」です。日田市出身で、江戸時代の儒学者である廣瀬淡窓が開設した日本最大級の私塾咸宜園は、身分を問わず誰でも入塾できました。そして、豆田地区には江戸時代以降に建てられた建造群が実在し、国の重要伝統的建造物群保存地区に指定されています。

来賓には日田市長をお迎えし、村井副市長の挨拶の中で(公社)大分県建築士会の活動に対して今後の期待と大会への祝辞を頂きました。



(祝辞を述べる村井副市長)

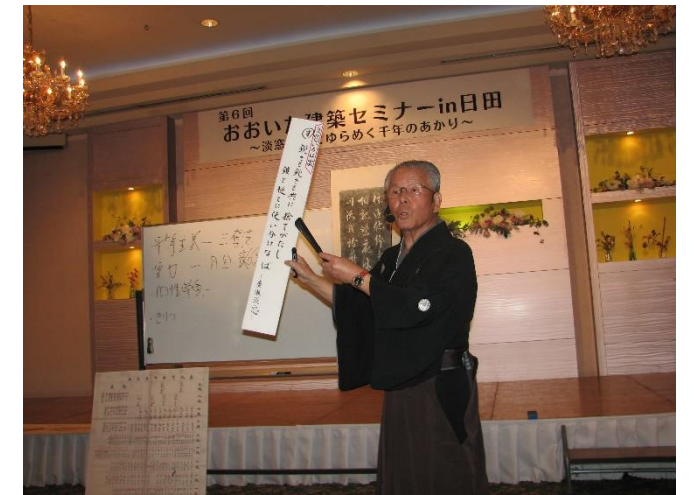
この後行われる講演会と交流会スケジュールの説明を大会実行委員長の櫻木弘三郎青年部長が行いました。

大会終了後の講演会は、廣瀬資料館の中島龍磨館長をお迎えして、2部構成で行われました。

(第1部)淡窓の「心」や「教え」を今の暮らしに生かす～では、儒学者として打ち立てた独自思想「敬天」により積善の実践について説明がありました。



(第2部)久兵衛、ロマンを使命に変えて突き進む～では、病弱だった淡窓に代わり家督を継いだ久兵衛の生き方に話があり、廣瀬家を繁栄させ、日田の地を西国一の経済文化の中心地に導いた人生についてお話がありました。



幕末の時代に、戦火に巻き込まれそうになった天領の日田地区が、淡窓や久兵衛の教えによって救われ、古い街並みが残った経緯を聞き、日田で生まれ育った私が知らないことも多く、歴史の重さを感じることが出来ました。

講演会終了後の豆田まち歩きでは、メイン会場のすぐ近くで、第40回日田天領まつりと第15回千年あかりが開催されており、多くの災害や歴史に翻弄されながらも復興に向けて頑張っている天領日田を堪能していただけた事と思います。



(豆田町歩き 千年明かりの様子)

豆田まち歩きを終え、18時30分より、大会が行われたマリエールオークパイン日田を宴会場に変えて交流会が開催されました。

宴会の冒頭で、なでしこ会による祇園囃子演奏が行われました。





（日田祇園囃子なでしこ会の演奏）



テーブル③ 月出山(かんとう)



テーブル⑥ 求来里(くくり)

宴会が進んで行き、8個の各テーブルでは久しぶりに会った人達で楽しそうな会話が行われていました。テーブルの名前は、日本の難読地名が多くある日田地区の名前が付けられており、宴会の最中に各テーブルにお邪魔して撮影しました。

以下は、各テーブルの様子です。



テーブル① 一尺八寸(みおう)



テーブル④ 三春原(うらせばる)



テーブル⑦ 小寒水(おそうず)



テーブル⑤ 刃連(ゆきい)



テーブル⑧ 小鹿田(おんた)



テーブル② 咸宜(かんぎ)



気分も盛り上がった処で、アトラクションで余興の各支部対抗によるペーパータワー競技大会が実施されました。開始前に作業始めるといった不正や酔った会員による妨害・・・などの小さなトラブルがありましたが、何とか計測を行いました。



競技の結果は、以下のとおりです。

支部名	記録
大分	m 51 cm
臼杵	m cm
高田	1 m 56 cm
別府	1 m 55 cm
津久見	1 m 56 cm
佐賀関	m cm
佐伯	1 m 80 cm
玖珠	1 m 98 cm
中津	1 m 56 cm
宇佐	m 27 cm

（ペーパータワー競技大会の結果）







優勝した玖珠支部と最下位の大分支部ですが、結果にかかわらず、楽しんで戴きたみたいで笑顔の撮影でした。



翌朝はみんな元気よく起き、朝7時からのランチルームで朝食を食べて、それぞれ各自で解散しました。



(羽田交流館の朝食メニュー)

最後に、会場責任者の後藤慎太郎副青年部長を筆頭に、残った支部会員6名で宿泊所の片付けと清掃を済ませ、管理人に確認を受けて羽田交流館を後にしました。運営委員の皆さんお疲れ様でした。

(広報部長 秋 和夫)

■ 活動報告 ■■■

第30回親善合同ゴルフ大会の報告  
(公社)大分県建築士会日田支部  
広報部長 秋 和夫

11月13日(金曜日)、ローレル日田カントリークラブに於いて、36名の参加者による9組で、建築士会員と賛助会員親善合同ゴルフ大会を開催しました。



(スタート前のルール説明と集合写真)

みんな笑顔で談笑しながらも、素振りをしたりパターの練習をしたりと勝負の緊張感が伝わってきました。さすがに第一打を打つ時には、皆打った球を追って「ナイスショット!」と声を掛け合っていました。

私は写真撮影のみで、スタート前の10時までしかお付き合いできませんでしたが、とても11月とは思えないほどの高い気温でスタートしたゴルフ大会は、楽しめたでしょう。



(スタートホールの様子)



(表彰式の様子)

夕方には、表彰式を兼ねた懇親会で更に親睦を深めました。ゴルフ大会を通じて、ともに一日を過ごした仲間として、ゴルフスコアや順位・成績に話が盛り上がったのではないのでしょうか。この親善ゴルフ大会を通して建築士会員と賛助会の良い交流の場を持たせた事だと思っております。



(懇親会の様子)

親善合同ゴルフ大会は、今回で第30回となり、事業部恒例の行事として定着しておりますので、また来年も行う予定です。年々若い参加者も増えており交流の幅も広がってきています。来年はもっと多くの新しい参加者会員で楽しめると思っておりますので、多数の参加をお待ちしております。

《あとがき》

支部会報は、公益社団法人大分県建築士会ホームページの中で、支部紹介の日田支部ページにも掲載されています。日田支部ページには、連絡事項やこれまでの活動報告など情報が満載ですので、ぜひ、見て下さい。(広報部長 秋より)

※日田支部のHPはこちら👉

<http://www.oita-shikai.or.jp/shibu/hita/>

